信愛こども発達支援センター

児童発達支援評価表
放課後等デイサービス評価表　　結果報告

令和7年3月10日

令和6年12月に、信愛こども発達支援センター利用の保護者の方を対象に【アンケート調査】を行い、回答を頂きました。貴重なご意見ありがとうございました。アンケートを公表すると共に真摯に受け止め、業務改善を図っていきたいと考えております。また、アンケート調査は毎年義務付けがあり、次回は令和7年10月に行う予定ですので、よろしくお願い致します。

事業所名	契約者数	回答数	回答率
児童発達支援	８名	３名	37%
放課後等デイサービス	２０名	６名	30%

＊児童発達支援結果報告＊

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	今後の改善点
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3名					
	2	職員の配置は適切であると思いますか。	3名					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は発達特性に応じて、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていると思いますか。	3名					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子どもの活動に合わせた空間となってると思いますか。	3名					
保護者への説明等	5	事業所を説明する際に、運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3名					
	6	個別支援計画（児童発達支援計画）（※2）を示しながら、支援内容の説明がありましたか。	3名					
	7	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※3）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2名	1名				●令和6年度は管理栄養士による食事に関する勉強会を行いました。来年度は定期開催に向けて準備を進めております。
	8	日頃から子どもの状況を保護者の方と伝えあい、子どもの健康状態や発達について共通理解ができていると思いますか。	3名					
	9	定期的に面談や、子育てに関する助言等の支援が行なわれていますか。	3名					
	10	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3名					
	11	保護者会等の開催や、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族の支援がされているか。また、きょうだい向けのイベント等の開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1名	2名		●コロナ感染症が5類になってから、行事等は再開しておりますが、交流の場には至っておりません。来年度は交流の場が持てるよう行事の検討をしていきます。
	12	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2名			1名		
	13	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3名					
	14	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2名			1名		●センター通信（月1回）、しんあい通信（年2回）にて活動の様子をお伝えしていますが、ホームページでの発信は不十分です。今後はホームページやインスタグラムの活用を検討していきます。 ●自己評価につきましては、ホームページで公表しております。今年度は3月下旬を予定しております。
	15	個人情報の取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	2名	1名				

適切な支援の提供	16	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門的な支援が受けられていると思いますか。	3名					
	17	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容とあっていると思いますか。	2名			1名		●支援プログラムは令和7年3月に公表予定です。公表後は事業所内の掲示、提供する支援内容と関連付けていきます。
	18	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画（児童発達支援計画）が作成されていると思いますか。	3名					
	19	個別支援計画（児童発達支援計画）には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき内容」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3名					
	20	個別支援計画（児童発達支援計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	3名					
	21	事業所のプログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2名	1名				
	22	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動をする機会がありますか。		1名	1名	1名		
非常時等の対応	23	事業所では、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1名		1名	1名		●各マニュアルは策定されていますが、保護者の方々に周知・説明はされていませんので、今後は周知方法も含めて検討していきます。 ●また、発生を想定した訓練は実施されていませんが、緊急時については重要事項説明書の別紙にて個別にて対応を確認させて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。			1名	2名		●年間計画に基づき、9月に火災を想定した避難訓練を行いました。今後は安全計画と連動した必要な訓練等の掲示を行っていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2名		1名			●安全計画は策定されておりますが、周知されておりませんので、今後は周知方法も含めて検討していきます。
	26	事故（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1名		1名	1名		●今後は事故発生時の対応を含めて安全計画の見直し、重要事項説明書にて丁寧に説明をしていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2名			1名		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1名	1名		1名		
	29	事業所の支援に満足していますか。	3名					

ご意見　～自由記載より～	今後の改善点
	●貴重なご意見ありがとうございました。アンケート結果の改善点と共に改善を図り、今後も遊びを通してお子さんの成長につながる支援をしていきたいと考えております。

＊放課後等デイサービス結果報告＊

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	今後の改善点
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6名					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6名					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は発達特性に応じて、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていると思いますか。	6名				●曲がり角にミラーがあるとよい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子どもの活動に合わせた空間となってると思いますか。	6名					
保護者への説明等	5	事業所を説明する際に、運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6名					
	6	個別支援計画（※2）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6名					
	7	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※3）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5名			1名		
	8	日頃から子どもの状況を保護者の方と伝えあい、子どもの健康状態や発達について共通理解ができていると思いますか。	6名					
	9	定期的に面談や、子育てに関する助言等の支援が行なわれていますか。	6名					
	10	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6名					
	11	保護者会等の開催や、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族の支援がされているか。また、きょうだい向けのイベント等の開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3名	2名		1名		●以前は家族参加型の交流会が行われていました。令和7年度は交流会の機会を作っていきたいと思います。
	12	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6名					
	13	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6名					
	14	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6名					
	15	個人情報の取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	6名					
適切な支援の提供	16	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門的な支援が受けられていると思いますか。	6名					
	17	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容とあっていると思いますか。	6名					
	18	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画（児童発達支援計画）が作成されていると思いますか。	6名					
	19	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき内容」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6名					

	20	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6名					
	21	事業所のプログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6名					
	22	放課後児童クラブや児童館での交流、地域で他のこどもと活動をする機会がありますか。		6名				
非常時等の対応	23	事業所では、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5名			1名		●各マニュアルは策定されていますが、保護者の方々に周知・説明はされていませんので、今後は周知方法も含めて検討していきます。 ●また、発生を想定した訓練は実施されていませんが、緊急時については重要事項説明書の別紙にて個別にて対応を確認させて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4名			2名		●年間計画に基づき、2月に火災を想定した避難訓練を行いました。今後は安全計画と連動した必要な訓練等の掲示を行っていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5名			1名		●安全計画は策定されておりますが、周知されておりませんので、今後は周知方法も含めて検討していきます。
	26	事故（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5名	1名				●今後は事故発生時の対応を含めて安全計画の見直し、重要事項説明書にて丁寧に説明をしていきます。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6名					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6名					
	29	事業所の支援に満足していますか。	6名					

ご意見　～自由記載より～	今後の改善点
●スタッフの配置数が多く、とても手厚く見てもらえて安心して利用できています。 ●活動も楽しいようで、子どもが毎回楽しんで通所できているので感謝しています	●貴重なご意見ありがとうございました。アンケート結果の改善点と共に改善を図り、一人ひとりとのかかわりを大切にしながら、みんなで楽しめる活動を提供していきたいと考えております。

信愛こども発達支援センター

事業所における自己評価結果　公表

児童発達支援

放課後等デイサービス

令和7年3月10日

令和6年12月に、信愛こども発達支援センター職員を対象に【事業所における自己評価】を行いました。
自己評価の結果と改善点を公表すると共に改善を図っていきたいと考えております。

＊事業所における自己評価結果＊

児童発達支援

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点/課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が機能訓練室等スペースとの関係が適切であるか。	10名		1名	法令を遵守したスペースを確保していますが、十分に活動できていないスペースもあります。引き続き室内環境を整え、安全に配慮しながらスペースの有効活用に取り組んでいきます。
	2	利用定員やこどもの状況等に応じて、職員の配置数は適切であるか。	10名		1名	利用曜日にバラつきがあるので、人員が足りない感じる日もあるかと思いますが、法令で必要とされている配置基準の配置を行っています。
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	9名	1名	1名	活動、排せつ、食事等、空間のメリハリは弱いように感じます。構造上仕方ないのかもしれませんが。水道場が車いす、子どもの背の高さにあっていない場面もあるので、環境面での課題があるのではないかと感じます。 改善目標としては、信愛こども発達支援センターは重症心身障害児・肢体不自由児が主に通う施設なので、生活空間につきましては、感染対策の視点から衛生面を重視しております。また、フロアやトイレなどの生活空間は全てバリアフリー化されており、車椅子に乗車したまま過ごすことができますが、その半面、生活面の自立に向けての環境設定は難しいですので、引き続き各職種が連携をして環境面の工夫を図っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	10名		1名	使用した玩具や椅子、机、マット類は全て毎日消毒をしており、サービス提供時間中にも定期的に換気を行っております。 職員は感染症対策の研修にも参加をしております。
	5	必要に応じて、こどもの個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11名			引き続き環境を整え、安心安全に過ごせるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6名	3名	2名	必要時に職員で会議を開催をすることで資質向上を図っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか。	10名		1名	年1回保護者向けアンケート調査を実施しております。今後もご意見、ご要望にお応えできるよう業務改善に取り組んでいきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10名		1名	朝会や職員会議を通して職員の意見等を把握するようにしております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6名	3名	2名	第三者による外部評価ではありませんが、内部による自己評価を行っております。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	10名		1名	法人内の研修は療育や発達支援・障害児に関するものが少ないように感じます。 改善すべき点としては内部研修・外部研修と様々な研修があり、定期的に参加していますし、今年度は全職員が他事業所へ見学に行きました。今後もこのような機会を通して資質向上を
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されいるか。	6名	2名	3名	令和7年3月に支援プログラムの公表をいたしました。今後は支援プログラムに基づいた支援を行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援（個別支援計画）を作成しているか。	11名			モニタリングにてご本人、ご家族の意向を丁寧に確認しながらアセスメントを行っております。また、リハビリを利用されている方に関しましては情報共有をさせて頂き、発達支援の参考にしております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援にかかわる職員が共通理解のもとで、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11名			個別支援会議にて実際に支援にかかわる職員が支援の方向性について一緒に検討しております。
	14	児童発達支援支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10名	1名		達成できたがどうか判定しずらい目標の場合があります。今後はスモールステップでの目標設定を行い、目標の明確化をしていきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7名	3名	1目	アセスメントツールというものはありませんが、看護師、リハビリスタッフと連携をして日々の支援を行っております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	11名			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	4名	6名	1名	主の職員の負担が大きいように感じます。 令和6年度の取り組みとして療育活動のマニュアル化をしました。今後もマニュアルに基づき、支援の向上を図っていきます。
	18	活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	8名	2名	1名	季節の遊びを取り入れながらリハビリスタッフにも相談し楽しみながら子供達の成長に繋がるような療育活動を考えています。今後も継続して行きたいと思います。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	9名	1名	1名	個別活動では、生活に必要なことを身につけることを目標にしており、一人一人の発達段階を把握しながら個別支援計画を作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8名	2名	1名	朝のミーティングにて当日の支援の内容や役割分担について確認した後、支援業務を開始しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	3名	7名	1名	放課後等デイサービスと兼務をしておりますので、毎日は難しいですが、その都度、支援について気になったことを共有をし、電子カルテに個別の記録を記載しています。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8名	1名	2名	個別の記録や健康管理については電子カルテにて記載しております。また、集団活動に関しては週案にて記録をし、支援の検証・改善に努めております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っているか。	11名			定期的にモニタリングは行っております。子どもの発達状況や移行への状況によっては見直しの時期を見直す場合があります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	11名			サービス担当者会議は児童発達支援管理責任者、もしくは個別支援計画を担当している職員が出席しております。医療的ケアのある場合には看護師も出席しております。
	25	地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）障害福祉、保育、教育等関係機関と連携した支援を行う体制を整えているか。	11名			豊川市児童発達相談センターや子育て支援課などの機関と連携をし、情報交換を行っております。また、主治医などの医療機関からも情報提供を依頼しております。
	26	併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10名	1名		保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等の間で直接情報交換は行っておりません。豊川市障害者自室支援協議会・こども部会では、障害のある・発達が気になるこどもたちが、成長するにあたり「切れ目のない支援」が続いていくことを目的に「サポートファイル～てとて～」があり、信愛でもサポートファイルの取り組みを導入しております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9名	1名	1名	小学校や特別支援学校との間で直接情報交換は行っておりませんが、アフターフォローという形で訪問等の移行支援を行っております。
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業等と連携を図り、地域全体の質の向上に対する取り組み等を行っているか。	9名		2名	2ヶ月に1回でありますが、豊川市児童発達支援事業所の会議があり、信愛こども発達支援センターも出席しております。情報交換や勉強会などを行っております。また、今年度は豊川市児童発達相談センターへ全員が見学を行いました。来年度も外部施設への見学を予定しております。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10名		1名	専門家からの直接的な助言でありませんが、主治医からは診療情報提供書にて指示を受けております。また、他事業所への見学や外部研修に参加する機会を作っております。
	30	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	8名	2名	1名	今年度は地域生活部会に参加をし、初任者研修や地域での課題を情報共有をしております。
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	3名	7名	1名	保育園や幼稚園等で活動として交流するのは、サービス提供時間上では難しいです。しかし信愛には職員対象ではありますが施設内保育所がありますで、保育所の子どもたちとの交流があります。また、園庭開放への同行等など個別の対応をしております。
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	10名		1名	単独利用のお子さんについては来所・退所時に保護者の方と直接お話したり、連絡帳で利用時の様子をお伝えしています。母子利用の方にはその場で情報共有しています。また、モニタリング時にも家での様子等ご家族からの聞き取りを行っています。
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	5名	4名	2名	コロナ感染症が5類へ移行したことに伴い、行事は少しずつ再開しております。今年度は管理栄養士による勉強会を開催しました。今後は家族交流会等取り入れていきたいと思っています。
保護者への説明責任等	34	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10名		1名	契約時に説明させて頂いておりますが、引き続き丁寧な説明を行っていきます。
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意見の尊重、こどもも最善に利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10名		1名	モニタリングの報告や個別支援計画の説明については児童発達支援管理責任者または担当職員が支援内容の説明をさせて頂いておりますが、引き続き丁寧な説明を行っていきます。
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10名		1名	個別支援計画の説明については児童発達支援管理責任者または担当職員が支援内容の説明をさせて頂いておりますが、引き続き丁寧な説明を行っていきます。
	37	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11名			子どもや保護者の方からの苦情についての体制を整備すると共に、定期的に面談を行い相談支援を行っております。
	38	父母の会の活動を支援することや保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6名	4名	1名	家族同士のつながりが弱いように感じております。父母の会や保護者会等の活動の開催はありませんが、今後は懇親会を通して保護者同士の交流の場を作っていきます。
	39	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11名			保護者からの相談や申し入れに関しては、施設のマニュアルに基づき対応しております。
	40	定期的に通信を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10名		1名	月に一度クラスだよりを発行をし、配布しております。
	41	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	10名		1名	年1回センター内で個人情報に関する研修を開催しております。今年度は3月の予定です。
	42	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10名		1名	児童に関しては絵や写真を用いて活動をしております。保護者の方に関しては日頃の姿だけでなく、クラスだよりを通じて情報が伝わるようにしています。
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	9名	1名	1名	地域の方に施設を知って頂く為に、年に一度夏祭りで施設を開放しており、令和6年度から再開しました。

非常時等の対応	44	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生を想定した訓練を実施しているか。	10名		1名	各種のマニュアルはありますが、今年度も利用者を対象とした避難訓練・保護者の方々を対象として連絡訓練を行いました。令和7年3月に「障害児通所支援事業所における安全計画」を公表しましたので、今後は計画に沿って訓練等を行っていきます。
	45	業務改善計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9名		2名	防災計画に基づき、訓練を行っております。今年度は避難を想定した訓練を行いました。来年度の訓練等につきましては、現在計画中ですが業務改善計画（BCP）に沿って災害に備えた訓練を計画しております。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11名			主治医による診療情報提供書にて状況の確認をしております。
	47	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされている。	8名		3名	基本的に契約前の保護者からの聞き取りにてアレルギーの有無を確認しております。場合によっては管理栄養士が介入をしております。
	48	安全計画を作成に、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講ずる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9名		2名	安全計画の公表をいたしました。今後は計画に基づいた支援を明確にすることで、適切な安全管理を行っていきます。
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。	8名		3名	安全計画については、掲示にて公表をしております。今後は計画についてご家族に丁寧に説明等を行っていきます。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	11名			法人で定められているヒヤリハットを作成し、職員間で検討・対応策を周知しております。
	51	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10名	1名		定期的に虐待防止の研修会に参加し、伝達研修を行っております。また施設内の虐待防止委員会の会議録につきましては、職員全員に周知をしております。
	52	どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10名		1名	身体拘束に関する同意書の運用マニュアルに基づき、契約時と年１回の見直しを行っております。

＊事業所における自己評価結果＊

放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点/課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が機能訓練室等スペースとの関係が適切であるか。	10名	1名	1名	全員で活動をする際、スペースの確保が難しくなってきた。法令を遵守したスペースを確保していますが、十分に活動できていないスペースもあります。引き続き室内環境を整え、安全に配慮しながらスペースの有効活用に取り組んでいきます。
	2	利用定員やこどもの状況等に応じて、職員の配置数は適切であるか。	8名	1名	3名	利用曜日にバラつきがあるので、人員が足りない感じる日もあるかと思いますが、法令で必要とされている配置基準の配置を行っています。
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	11名	1名		活動、排せつ、食事等、空間のメリハリは弱いように感じます。構造上仕方ないのかもしれませんが。水道場が車いす、子どもの背の高さにあっていない場面もあるので、環境面での課題があるのではないかと感じます。 改善目標としては、信愛こども発達支援センターは重症心身障害児・肢体不自由児が主に通う施設なので、生活空間につきましては、感染対策の視点から衛生面を重視しております。また、フロアやトイレなどの生活空間は全てバリアフリー化されており、車椅子に乗車したまま過ごすことができますが、その半面、生活面の自立に向けての環境設定は難しいですので、引き続き各職種が連携をして環境面の工夫を図っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	10名	2名		マットでの休息スペースが狭いときがあります。室内環境の見直しを行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもの個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12名			引き続き環境を整え、安心安全に過ごせるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9名	1名	2名	必要時に職員で会議を開催をすることで資質向上を図っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか。	11名		1名	年1回保護者向けアンケート調査を実施しております。今後もご意見、ご要望にお応えできるよう業務改善に取り組んでいきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10名	2名		朝会や職員会議を通して職員の意見等を把握するようにしております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7名	3名	2名	第三者による外部評価ではありませんが、内部による自己評価を行っております。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	12名			法人内の研修は療育や発達支援・障害児に関するものが少ないように思います。 改善すべき点としては内部研修・外部研修と様々な研修があり、定期的に参加していますし、今年度は全職員が他事業所へ見学に行きました。今後もこのような機会を通して資質向上を
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されいるか。	9名	1名	2名	定期的にアセスメントを行い、個別支援計画の作成をしております
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス支援（個別支援計画）を作成しているか。	12名			モニタリングにてご本人、ご家族の意向を丁寧に確認しながらアセスメントを行っております。また、リハビリを利用されている方に関しましては情報共有をさせて頂き、発達支援の参考にしております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援にかかわる職員が共通理解のもとで、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12名			個別支援会議にて実際に支援にかかわる職員が支援の方向性について一緒に検討しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12名			計画は常に共有できるようファイル化しております。また支援に入る前にはその都度計画内容を確認するようにしております。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9名	2名	1名	アセスメントツールというものはありませんが、看護師、リハビリスタッフと連携をして日々の支援を行っております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	12名			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	6名	5名	1名	朝のミーティングにて当日の支援の内容や役割分担について確認した後、支援業務を開始しております。
	18	活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	9名	1名	2名	季節の遊びを取り入れながらリハビリスタッフにも相談し楽しみながら子供達の成長に繋がるような活動を考えています。今後も継続して行きたいと思います。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。	10名		2名	個別活動では、生活に必要なことを身につけることを目標にしており、一人一人の発達段階を把握しながら個別支援計画を作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9名	2名	1名	朝のミーティングにて当日の支援の内容や役割分担について確認した後、支援業務を開始しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	5名	5名	2名	児童発達支援と兼務をしておりますので、毎日は難しいですが、その都度、支援について気になったことを共有をし、電子カルテに個別の記録を記載しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10名		2名	個別の記録や健康管理については電子カルテにて記載しております。また、集団活動に関しては週案にて記録をし、支援の検証・改善に努めております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っているか。	12名			定期的にモニタリングは行っております。子どもの発達状況や移行への状況によっては見直しの時期を見直す場合があります。
	24	放課後等デイサービスのガイドライン「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9名	1名	2名	創作活動や余暇の提供など様々な活動を組み合わせて支援を行っております。

	25	こどもが自己決定できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12名			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	12名			サービス担当者会議はは児童発達支援管理責任者、もしくは個別支援計画を担当している職員が出席しております。医療的ケアのある場合には看護師も出席しております。
	27	地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）障害福祉、保育、教育等関係機関と連携した支援を行う体制を整えているか。	11名			豊川市児童発達相談センターや子育て支援課などの機関と連携をし、情報交換を行っております。また、主治医などの医療機関からも情報提供を依頼しております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12名			送迎時、必ず学校での様子を引継ぎにて確認させて頂いております。豊橋特別支援学校に関しては年1回説明会がありますので、下校時間や連携方法の確認をしております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6名		5名	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9名		3名	移行支援におきましては保護者の方の了解を得た後に他事業所や相談支援専門員等との連携を図っております。
	31	地域の他の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7名	1名	4名	専門家からの直接的な助言でありませんが、主治医からは診療情報提供書にて指示を受けております。また、他事業所への見学や外部研修に参加する機会を作っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	4名	7名	1名	2ヶ月に1回でありますが、放課後等デイサービス連絡会があり、信愛こども発達支援センターも出席しております。情報交換や勉強会などを行っております。また、今年度は豊川市児童発達相談センターへ全員が見学を行いました。来年度も外部施設への見学を予定しております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加している。	8名	1名	3名	今年度は地域生活部会に参加をし、初任者研修や地域での課題を情報共有をしております。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	11名		1名	来所時や退所、送迎時を通じて1日の様子をお伝えしています。
	35	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	5名	4名	3名	
保護者への説明責任等	36	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12名			契約時に説明させて頂いております。
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意見の尊重、こどもも最善に利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12名			モニタリングの報告や個別支援計画の説明については児童発達支援管理責任者または担当職員が支援内容の説明をさせて頂いておりますが、引き続き丁寧な説明を行っていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12名			個別支援計画の説明については児童発達支援管理責任者または担当職員が支援内容の説明をさせて頂いておりますが、引き続き丁寧な説明を行っていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10名		2名	保護者からの相談や申し入れに関しては、施設のマニュアルに基づき対応しております。
	40	父母の会の活動を支援することや保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6名	3名	3名	父母の会や保護者会等の活動の開催はありませんが、今後は懇親会を通して保護者同士の交流の場を作っていきます。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1②名			保護者からの相談や申し入れに関しては、施設のマニュアルに基づき対応しております。
	42	定期的に通信を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11名		1名	月に一度クラスだよりを発行をし、配布しております。
	43	個人情報に十分注意しているか。	11名		1名	契約時に個人情報同意書の説明をさせて頂き、承諾を得ております。また、職員は個人情報の規定に基づき十分注意をしております。
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11名		1名	児童に関しては絵や写真を用いて活動をしております。保護者の方に関しては日頃の姿だけでなく、クラスだよりを通じて情報が伝わるようにしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っていか。	11名		1名	地域の方に施設を知って頂く為に、年に一度夏祭りで施設を開放しており、令和6年度から再開しました。
	46	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生を想定した訓練を実施しているか。	11名		1名	各種のマニュアルはありますが、今年度も利用者を対象とした避難訓練・保護者の方々を対象として連絡訓練を行いました。令和7年3月に「障害児通所支援事業所における安全計画」を公表しましたので、今後は計画に沿って訓練等を行っていきます。

非常時等の対応	47	業務改善計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10名		2名	防災計画に基づき、訓練を行っております。今年度は避難を想定した訓練を行いました。来年度の訓練等につきましては、現在計画中ですが業務改善計画（BCP）に沿って災害に備えた訓練を計画しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12名			主治医による診療情報提供書にて状況の確認をしております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされている。	10名		2名	基本的に契約前の保護者からの聞き取りにてアレルギーの有無を確認しております。場合によっては管理栄養士が介入をしております。
	50	安全計画を作成に、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講ずる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11名		1名	安全計画の公表をいたしました。今後は計画に基づいた支援を明確にすることで、適切な安全管理を行っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。	10名		2名	安全計画については、掲示にて公表をしております。今後は計画についてご家族に丁寧に説明等を行っていきます。
	52	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	12名			法人で定められているヒヤリハットを作成し、職員間で検討・対応策を周知しております。
	53	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12名			定期的に虐待防止の研修会に参加し、伝達研修を行っております。また施設内の虐待防止委員会の会議録につきましては、職員全員に周知をしております。
	54	どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12名			身体拘束に関する同意書の運用マニュアルに基づき、契約時と年１回の見直しを行っております。